

2013年度 建設マネジメント委員会

# 研究成果発表会及び表彰式

主催:土木学会 建設マネジメント委員会

日時:平成25年8月1日(木) 13:00~17:40 (終了時刻は変更する可能性があります)

場所:土木学会講堂 新宿区四谷1丁目(外濠公園内)TEL 03-3355-3559

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目外濠公園内

(JR「四ツ谷」駅の四ツ谷口より徒歩3分、地下鉄南北線「四ツ谷」駅の3番出口より徒歩3分、地下鉄丸の内線「四ツ谷」駅より徒歩5分)(<http://www.jsce.or.jp/map/frameset.htm>にて地図を入手できます。)

参加費:無料(資料代1,000円)

申込:下記のHPより「申込画面」へすすみ、お申し込み下さい

(<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp> ⇒ 行事コード:45304)

13:00~13:10

開会の挨拶 :建設マネジメント委員会 小澤一雅 委員長

## 【表彰式】

13:10~13:20

表彰発表 :表彰小委員会 三百田敏夫 小委員長

13:20~13:25

表彰状授与 :建設マネジメント委員会 小澤一雅 委員長

13:25~13:35

論文賞受賞論文概要紹介 :受賞者

13:35~14:00

グッド・プラクティス賞概要紹介 :表彰小委員会

14:00

閉会

14:00~14:15

休憩

**【研究小委員会の部】 ※プログラムは変更になる可能性があります。**

<b>14:15~14:55</b>	<b>インフラ関連事業への適切な PFI/PPP 導入に向けて ー制度等のレビュー・提言、道路修繕維持管理 PPP、官民ベストパートナーシップについてー</b>
<p>当小委員会では、日本のインフラ分野での PFI・PPP 導入に関する研究を、①PFI/PPP レビュー・提言-WG、②道路 PPP-WG、③ベストパートナーシップ WG の 3WG を設置し実施している。</p> <p>今回の発表では、以下のとおり、各 WG の研究内容について報告する。</p> <p>①PFI/PPP レビュー・提言-WG</p> <p>PFI・PPP が国の成長戦略として重要性を増している昨今の状況下、わが国及び諸外国における PFI・PPP の現状（課題、事例、既往研究等）について改めて調査・整理を行った上で、今後の PFI・PPP の推進にとって重要な論点や対応が必要な課題を抽出しそれらの改善策等に関する研究を行っている。</p> <p>②道路 PPP-WG</p> <p>一定のエリア内の既存道路ネットワークの更新・修繕及び維持管理を包括的・長期的に民間に委ねる PFI・PPP 事業を中心に、英国での類似実施事例や国内における先進的な計画等について整理した上で、日本における実施に向けた課題とその対応策等について研究を行っている。</p> <p>③ベストパートナーシップ WG</p> <p>これまでの日本の PFI・PPP 事業において発生した官民間の紛争やリスク顕在化の事例等をふまえ、これらの発生を未然に抑止するため、従来の官民の 2 項対立の構図を超えた、役割・リスク分担における官民パートナーシップ・協働のあり方について研究を行っている。</p>	
<b>インフラ PFI・PPP 研究小委員会（第 1 種継続）</b>	<p>宮本 和明（東京都市大学）</p> <p>大島 邦彦（熊谷組）</p> <p>渡会 英明（建設技術研究所）</p>

<b>14:55~15:15</b>	<b>公共事業執行システム改革に向けての課題と地方公共団体の技術力実態調査について</b>
<p>平成 23 年 8 月に「公共事業改革プロジェクト小委員会報告書」において事業マネジメント概念の導入と新たな公共事業調達法が提案されたが、公共事業執行システムの改革を実現するには、次の課題を検討する必要がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 異常な入札価格の審査方式、地元中小建設業者への発注方式</li> <li>2) 建設コンサルタント業務、デザインビルド等における事前技術評価や交渉方式の運用方法</li> <li>3) 積算、監督検査、支払い等に関する発注者の役割の見直し、マネジメント手法の導入、ICT 技術の活用等</li> </ol> <p>平成 24 年 8 月以降これまでに小委員会を 6 回開催し、これらの課題について情報収集・ヒアリング等により研究を進めてきた。</p> <p>また、課題研究 3) の一環として地方公共団体の技術力実態把握アンケートを 5 月に開始し概略のとりまとめができた段階である。</p> <p>中間成果として、3 課題についてのこれまでの取り組み状況及びアンケート調査の結果を発表する。</p>	
<b>公共事業執行システム研究小委員会（第 1 種継続）</b>	<p>木下 誠也（愛媛大学）</p> <p>野口 好夫（名古屋工業大学）</p>

<b>15:15~15:45</b>	<b>「地域マネジメント協議会」設立と協議会を活用した地方都市再生事業化構想検討に関する実証的な努力と成果</b>
<p>過去4年間継続してきた滋賀県湖南市の都市再生事業も、全体的な将来都市像の構想と、JR3駅周辺地域・国道バイパス沿道地域の開発計画構想、地域基盤交通（LRT）システム構想、それらの事業化（建設と経営のマネジメント）構想、等々を整理して、実施可能な対象から実施のためのプロジェクトプランニングとマネジメントシステム設計の着手の段階に入ることとした。発表では、これまでに報告してきた「石部駅周辺地区マネジメント協議会」での検討を中心に、名神高速道路新IC地区で物流システムと関連（ロジスティックスマネジメントセンター）の開発構想等々、湖南市全域での都市再生計画のための主要検討プロジェクトの検討を、湖南市都市地域マネジメント問題として実証的に検討した成果を報告する。</p>	
<b>地域マネジメント研究小委員会（第2種継続）</b>	春名 攻（立命館大学） 山田 幸一郎（立命館大学客員研究員）

<b>15:45~16:00</b>	<b>休 憩</b>
--------------------	------------

<b>16:00~16:20</b>	<b>環境修復事業における新しいマネジメントによるビジネスモデルの研究</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・当研究委員会の研究実績</li> <li>・発表テーマに対する現状と課題</li> <li>・有識者へのインタビュー</li> <li>・商工会議所へのインタビュー</li> <li>・土壌汚染地に対する国民意識調査</li> <li>・環境修復事業に最適なマネジメント手法</li> <li>・環境に配慮したビジネスモデルの研究</li> <li>・まとめ</li> </ul>	
<b>環境修復事業マネジメント研究小委員会（第2種終了）</b>	下池 季樹（国際環境ソリューションズ株）

<b>16:20~16:40</b>	<b>地域貢献としての地場企業の災害対応についての調査—北部九州豪雨災害の事例—(中間報告)</b>
<p>地方において地場建設業者は、災害時の初動対応・警戒活動や迅速な災害復旧等に大きな役割を果たしている。それゆえ、公共工事遂行時には貢献する地場業者の存続を図りながら、かつ公平な入札契約が行えるよう各自治体はその貢献度を加味する方策に苦慮している現状にある。</p> <p>本小委員会では、入札等における企業評価のあり方の観点から、地場業者の災害対応の実態と課題について調査研究しており、ここでは昨年7月の北部九州豪雨災害時の地場企業の災害対応調査についての中間報告を発表する。とくに、災害協定に基づく対応における、複数機関との協定、人員や重機提供に伴う負担、防災体制と指示系統などの実態と課題について検討中の内容を報告する。</p>	
<b>地方における公共工事の入札契約方式に関する研究小委員会（第3種継続）</b>	牧角 龍憲（九州共立大学総合研究所）

16:40~17:10

「失敗の本質」から学ぶ強い組織づくり

本研究小委員会の昨年の発表『「失敗の本質」と海外土木事業とプロジェクトマネジメント』においては、組織的ジレンマ対策（戦略性、組織運営、リーダーシップ、戦術性、日本的メンタリティ払拭）について述べた。

本年は、昨年の発表を踏まえ、強い組織づくりには、何が重要かについて発表する。具体的には、最近の高収益力日本企業として、トヨタ自動車と日産自動車を例にとり、産業分野は異なるが、ゼネコンの強い組織づくりにおいて、何が参考になるかについて考察・検討した結果を発表する。

新しいビジネスモデル研究小委員会  
(第3種継続)

中山 等 (鹿島建設株)

17:10~17:30

北海道における市町村のインフラマネジメントに向けた技術支援の取り組みについて

インフラマネジメントにおいては、市町村の役割は大きい。例えば北海道では道路総延長の約7割を市町村が管理している。

このような認識の下、北海道土木技術会建設マネジメント研究委員会アセットマネジメント小委員会（以下、当委員会）では、道内市町村が管理するインフラのマネジメント、特に橋梁の長寿命化に焦点を当てた技術的支援策の検討に取り組んできた。

具体的には、全道自治体アンケート及び自治体ヒアリング、市町村の橋梁長寿命化に向けたQ&A集の作成などを行った。

本発表では、当委員会で行ったこれら活動についてその概要を報告する。

北海道戦略的建設マネジメント研究小委員会 (第3種継続)

本間省爾 (株式会社ドーコン)

17:30~17:40

閉会の挨拶 : 運営小委員会 堀田昌英 小委員長



■問い合わせ

公益社団法人 土木学会  
研究事業課 建設マネジメント委員会  
担当 竹原 優子

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目外濠公園内  
TEL: 03-3355-3559  
E-mail: takehara@jsce.or.jp

  
土木学会  
The Construction Management Committee  
建設マネジメント委員会